

宮城県高等学校野球連盟

2回戦 鹿島中央野球場 2時間 15分

尚綱学院	0 0 0	0 0 0	0 0 1	1	【尚】	31 4 1 3 0 6 6 9 2 0
仙台第二	1 0 0	0 0 0	0 2 ×	3	【仙】	24 4 1 6 3 4 5 4 1 0

(球) 渡辺明 (一) 遠藤 (二) 熊谷 (三) 曾根
 【尚】 島山 ー 後藤
 【仙】 長谷川・天橋 ー 鈴木
 ▽暴投 長谷川1(仙) ▽捕逸 なし

▽本塁打 なし
 ▽三塁打 なし
 ▽二塁打 なし (尚) 佐藤佳 (仙)

□大会第3日目 10月6日(火)

準決勝 松島運動公園野球場 1時間 44分

仙台工業	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0	【仙】	26 4 0 0 3 2 3 5 1 1
気仙沼	0 0 0	0 0 1	0 0 ×	1	【気】	27 5 1 2 2 2 4 6 0 0

(球) 佐藤浩 (一) 安部 (二) 森山宏 (三) 黒沼
 【仙】 古山 ー 千葉
 【気】 熊谷 ー 佐々木
 ▽暴投 なし ▽捕逸 なし

▽本塁打 なし
 ▽三塁打 なし
 ▽二塁打 なし (仙) (気)

【 仙 台 工 業 】	打	安	点	【 気 仙 沼 】	打	安	点
(捕) 千 葉	4	2	0	(捕) 佐 々 木	4	1	0
(二) 佐 藤	2	1	0	(二) 伊 東	4	1	0
(三) 目 黒	4	1	0	(三) 千 葉	3	1	0
(中) 因 幡	3	0	0	(三) 平 尾	0	0	0
(左) 我 妻	3	0	0	(中) 千 葉	3	0	0
(遊) 菅 野	3	0	0	(左) 千 葉	2	0	0
(投) 米 澤	3	0	0	(遊) 小 野	3	2	1
(右) 石 川	2	0	0	(投) 熊 谷	2	0	0
(一) 古 山	2	0	0	(右) 三 浦	3	0	0
				(一) 村 上	3	0	0
計	26	4	0	計	27	5	1

【評】
 準決勝の第一試合は、接戦をものにし勝ち上がってきた仙台工業と気仙沼の対戦となった。試合は中盤まで両投手の好投と手堅い守備で、テンポよく試合が進んだ。6回表仙台工業は先頭打者がレフトオーバーの二塁打を打ち、次打者が送り、一死三塁と先制の好機をつくった。しかし、3番、4番であと一本が出ず、ランナーを還すことができなかった。その裏、気仙沼は先頭打者がバントヒットで出ると、次打者が四球を選び、無死一二塁とした。続く4番打者の送りバントが仙台工業の野手選択を誘い、満塁とした。5番打者の打球は前守備のショート正面で、本塁で三塁ランナーはアウト、打者走者も捕手から一塁に送球されダブルプレーとなった。二死二三塁から6番打者は初球ストライクを積極的に打ち、レフト前ヒットで待望の先取点をあげた。結局これが決勝点となり、気仙沼が決勝進出と東北大会出場を決めた。仙台工業は8回、9回とヒットが出たものの、気仙沼の主戦熊谷の緩急を使い分けた投球に後が続かなかった。

準決勝 松島運動公園野球場 2時間 0分

仙台第二	0 0 2	0 0 1	0 0 0	3	【二】	33 7 3 0 2 4 3 9 2 0
仙台商業	1 0 2	1 0 0	0 0 ×	4	【商】	25 6 4 1 5 10 2 12 2 0

(球) 毛利 (一) 佐々木伸 (二) 米谷 (三) 鈴木恵
 【二】 田野口・長谷川 ー 鈴木
 【商】 鎌田・田中 ー 佐藤海
 ▽暴投 なし ▽捕逸 なし

▽本塁打 なし
 ▽三塁打 なし
 ▽二塁打 なし (二) (商)

【 仙 台 第 二 】	打	安	点	【 仙 台 商 業 】	打	安	点
(右) 中 服	5	1	0	(中) 奈 良	3	0	0
(三) 投 玉	4	2	0	(遊) 小 池	3	1	1
(遊) 投 大	5	1	0	(三) 佐 藤	2	1	0
(一) 左 右	4	1	2	(左) 投 田	4	0	0
(左) 二 高	3	0	0	(投) 右 鎌	2	2	0
(捕) 鈴 木	3	1	0	(捕) 田 藤	2	1	1
(中) 遊 佐	3	0	0	(一) 藤 海	4	1	2
(二) 打 一	2	0	0	(二) 伊 藤	3	0	0
(投) 成 田	1	0	0	(右) 左 工	2	0	0
(投) 左 長	2	1	1				
計	33	7	3	計	25	6	4

【評】
 仙台商業高校と仙台第二高校による準決勝2試合目は、仙台第二・田野口、仙台商業鎌田の先発でスタートした。初回、制球に苦しむ仙台第二・田野口は、4四死球で先取点を許した。2回以降、制球は安定したものの、仙台商業は好機で安打を打ち、4回までに4点を取った。一方、仙台第二も得点圏へ進めたランナーを単打と判断のよい走塁で得点とし、前半終了時点で4-3という接戦となった。後半は、一転投手戦となった。仙台第二は5回からマウンドに上がったエース長谷川が4回1安打と相手打線を抑え、守りよりリズムを作った。それにより、6回に1点を挙げ、1点差まで追いついた。しかし、最後は8回より2番手としてリリーフした仙台商業・田中に抑えられ、逆転はならなかった。最終的には、4-3で仙台商業の勝利となった。

□大会第4日目 10月7日(水)

決勝戦 松島運動公園野球場 1時間 28分

気仙沼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
仙台商業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	x	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【気】	30	4	0	2	1	4	7	8	0	0
【仙】	25	2	1	0	3	3	8	4	3	1

(球) 鴫田 (一) 菅原久 (二) 加藤正 (三) 大槻
 【気】 千葉亜 一 佐々木
 【仙】 田中 一 佐藤海
 ▽暴投 なし ▽捕逸 なし

▽本塁打 なし
 ▽三塁打 なし
 ▽二塁打 なし 田中 (気) (仙)

【気仙沼】	打	安	点
(捕) 佐々木	4	1	0
(二) 伊東	3	0	0
(投) 千葉亜	3	0	0
(中) 千葉佑	3	1	0
(左) 千葉崇	3	0	0
(遊) 小野寺	3	1	0
(三) 小平	4	0	0
(右) 三村	4	0	0
(一) 村上	3	1	0
計	30	4	0

【仙台商業】	打	安	点
(遊) 池田	2	0	0
(右) 小鎌	3	0	0
(三) 佐藤優	4	0	0
(投) 田中	4	1	1
(一) 藤川	3	1	0
(捕) 藤海	2	0	0
(左) 石垣	2	0	0
(二) 橋浦	2	0	0
(中) 奈良	3	0	0
計	25	2	1

【評】

秋晴れのもと行われた決勝戦は、7年ぶりの優勝を目指す気仙沼と、2年連続の優勝を目指す仙台商業との対戦となった。気仙沼・千葉亜、仙台商業・田中の投げ合いとなった。気仙沼は4回、先頭打者がライト前安打で出塁、次打者の送りバントが一塁手のエラーとなり、一三塁とした。続く打者は四球を選び、無死満塁となり絶好のチャンスを作るが、次打者がフルカウントまで粘るが三振、三塁ランナーは本塁に突っ込みタッチアウトで二死。続く打者も三振に倒れランナーを還すことができなかった。その後、両チームとも好投する両投手の前にチャンスを作れないまま、試合に終盤に突入した。気仙沼・千葉の緩急自在の投球を打ちあぐんでいた仙台商業は、9回裏に先頭打者が四球で出塁。次打者が送りバントで一死二塁でサヨナラ場面を作った。続く3番はサードライナーとなり二死となったが、4番・田中がレフトオーバーの二塁打を放ち、息詰まる投手戦に終止符を打った。気仙沼・千葉亜の奪三振8、仙台商業・田中が7と好投が光る決勝戦であった。

優勝校

仙台商業高等学校 (2年連続16回目)
 (東北大会出場は2年連続9回目)

準優勝校

気仙沼高等学校
 (7年ぶり3回目の東北大会出場)